

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
い	伊ヶ崎淑彦	6	54	“歴史再見”お水取りや磐井の乱を問い返す
	“	7	50	大和川は文化始源の地なり—東大阪 いろはは 独案内—
	“	8	37	騎馬民族がやってきた—五世紀の紀伊・泉南から—
	“	9	15	郷土史・独案内 謎解き歴史散歩—吉田を歩く—
	“	10	48	「知られざる飛鳥へ」
	“	11	15	出雲神話のウラ世界(抄)—イツマ王国とヤマト—
	“	12	29	河内の柳田国男といわれた小島勝治
	“	12	33	活動弁士ひとすじ 浜 星波
	“	12	52	扶養国論 —紀伊・上天野にみつけた—
	“	13	21	称徳女帝と道鏡法師考 —得をしたのは誰か—
	“	14	107	郷土史・異説あれこれ
	石上敏	18	4	三〇周年記念事業参画の記
	石田郁代	6	77	—紅き花みな友にゆずりて—山川登美子と与謝野晶子
	“	7	76	塚のひと・与謝野晶子の歌 新大和川河口のまちを詠む
	“	8	60	戦後六十年・学徒動員の追憶の集い 十五歳の思い出
	伊藤俊夫	14	15	回想の片山長三
	“	15	84	四條畷高校美術準備室 —続・回想の片山長三—
	“	16	13	回想の片山長三③「古美術と初期絵画」
	井上伸一	9	61	新田会所の通説を考え直す
	井上法子	15	25	きものど私
	今村興志雄	14	31	十三仏碑見である記
	“	15	39	住道からぶらり中垣内越え宝山寺への道
	岩下梅野	1	46	もんじど共に
	岩永憲一郎	1	17	「富景様」をめぐる古文書と漢詩
	“	3	25	高安山を越えて来た人びと
	“	5	86	幕末の志士学者 飯田忠彦の弁明
	岩橋初子	1	9	生駒 山ふところのいぶし銀
う	植田啓司	4	95	飛田家の大工道具
	内倉武久	18	38	古代の「天皇」は福岡県に都していた
	“	19	39	崇神天皇と太田多根子と熊襲
	“	20	14	関西における熊襲と紀氏族の足跡—「よくよく見るとそれだらけ」—
	梅田豪	19	22	近畿日本鉄道 鶴橋運河側線
	“	20	49	近鉄奈良線(瓢箪山～石切)「大軌」境界標

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
あ	青井建之	13	55	東大阪市の橋 道と川から橋を探る
	青木貴美子	1	20	木村長門守重成
	青ぶどう俳句会	10	17	俳句5句
	“	11	41	俳句10句
	“	12	61	俳句10句
	明尾圭造	15	6	絵筆を持った郷土史家 堤槽次郎
	浅野詠子	12	1	『河内文化のおもちゃ箱』と記憶遺産
	足代健二郎	10	2	「日羅」についての覚え書き
	“	11	44	「猪飼野ゆかり」著名人番付」覚え書き
	“	12	47	王仁博士「難波津の歌」万葉板名・和文・ハングル 歌碑建立までの覚え書き(前段)
	“	13	10	「難波古図」についての覚え書き
	“	14	70	キョウチヤル(警察)アパート探索の顛末
	“	15	19	祇園牛頭天王ノート
	“	17	54	私見 磐船明神社の近世・近代史(前編)
	“	18	11	私見 磐船明神社の近世・近代史(後編)
	“	19	11	「伊加賀」(「伊賀ヶ(いかがり)」地名から物部氏を考える
	“	20	23	八尾における「神武・聖徳太子・家康」伝説の関係
	天竹薫信	1	57	山岳信仰と陀羅尼助丸考
	“	4	89	「香岐島の元寇」一考
	“	6	84	多武峯にあるアノウラ樹について
	“	8	63	古都を廃虚から救ったウオーナー—伝説再顧
	“	9	78	田辺聖子氏の色紙のはなし—おくのほそ道の曾良の句に想う—
	“	10	96	花登篋氏の「一日図書館長」—村・司馬遼太郎氏のことなど—
	“	12	63	楠氏正成の桜井宿で子息正行に教訓の壁書
	“	13	36	「特甲幹」という名の私の戦塵記—鬼の天白・地獄の高師一朝の夢—
	“	15	28	北陸路・親不知子の渚に佇みて
	有木靖	3	7	《弘川寺『西行瀬島川にみる』西行法師の執念
い	伊ヶ崎淑彦	1	37	愛しのナガスネヒコと河内地名考
	“	2	66	水辺と夢のムラ そして司馬さん
	“	3	70	東大阪ロマンの寺
	“	4	57	“石器ねつ造事件”から学ぶもの—その背景と事件を追う—
	“	5	69	知られざる河内木綿の謎をさぐる—人こそ歴史・小島勝治を鑑として—

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
お	小野賢一	15	8	植次郎の描く「大正期の鶴橋」を読み解く
	〃	20	44	「大正期から昭和初期の鶴橋町形成史」研究ノート(1) -鶴橋料地敷地事業・平野川改修と方面委員制度の検討を通じて-
か	甲斐駿一郎	6	66	鴻池新田会所の石造物
	〃	7	63	鴻池新田開発に心血を注いだ鴻池善右衛門宗利
	海谷寛	3	46	松永久秀、あれやこれや
	〃	8	32	旅が紡いだ旅
	〃	9	48	小説ノート「幻の城」
	〃	10	43	風景抄
	〃	11	31	残月抄
	〃	14	86	近古摺譚
	勝田邦夫	3	88	中河内の十三仏
	加藤弘子	3	50	創作「お糸はん」
	川口哲秀	1	3	府史跡河内往生院伝承地
	〃	2	1	東高野街道(東大阪市内)往生院六萬寺
	〃	7	94	渡辺橋
	〃	8	1	楠木正行・正時を掘起す
	〃	9	1	東大阪市内に残る楠木氏銅像・石像
	〃	10	8	楠木父子別れの人形
き	北山良	11	59	往馬大社火まつりのこと
	〃	14	50	戦時中の楠風荘
	木村余里	3	14	西園寺公達“道君”幻の御入院
	京嶋寛	14	5	摂津と河内—二つの百済—
<	楠田有子	13	52	木綿の産地を訪ねて
	久保下多美子	19	46	鶴野謙良(特航天皇)～倭国から日本への画期の時代に生きたウノサヲは中大兄の娘か?～
	黒田収	5	24	大和川付け替えと二人の大商人—河村瑞賢と鴻池宗利—
	〃	7	28	大和川付け替えと勘定奉行 萩原重秀
	〃	8	9	三ノ瀬公園の歴史
	〃	10	29	「行基を考える」
	〃	13	71	小阪物語
	〃	14	46	布施の話
	〃	15	62	俊徳道・十三街道
こ	工場を駆逐する会 (旧工場建設委員会)	17	40	町工場主の歩みから見た『河内、この百年』第四期
	〃	19	31	モノづくり長寿企業ストーリー— 株式会社河内製綱所 東大阪市衣摺三丁目

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
う	うらら短歌会	18	53	短歌
	〃	20	52	河内を詠む
お	太田理	3	101	盾津(たてつ)の飛行場
	〃	15	79	盾津飛行場と私とその周辺
	〃	16	17	点描・田原の民俗—傍示さし・砂絵
	〃	17	58	点描・田原の民俗その二—地域の人々の信仰・習俗
	〃	18	23	点描・田原の民俗その三—大和と河内の田原の民俗
	大西英利	2	61	東大阪地域に遺る 六十六部廻国供養の石造物
	〃	5	94	中河内に遺る大坂相撲頭取鏡山代々とその墓碑
	〃	18	16	明治前期、河内の相撲の一面
	〃	20	31	河内に遺る大坂勧進大相撲のカ土碑
	大東道雄	2	88	「澁川郡 大池村 文書より」幕末の村事情“庄屋役をめぐる”
	〃	3	82	“古代・橋島余話”「横野ノ堤と並河誠所」
	〃	6	7	“堺 中百舌鳥”「筒井家 屋敷を訪ねて」
	〃	7	70	新大和川筋 水論一件
	〃	10	79	長州征伐と村人達—澁川郡大地村文書より—
	〃	11	4	古代橋島余話(二)「祖父間(は邑智島)」「四天王寺御手印縁起の謎を解く”
	〃	13	4	河内の治水「田輪ノ樋、余間」安宿郡国分村文書より
	〃	14	101	河内の伝説ものがたり
	〃	15	4	万葉歌に顕れた、河内の風景
	岡本好行	16	39	ヒヤリソウにより記録
	坂田昭次	1	43	クスノキ
	〃	3	66	池島・泉證寺の蓮如上人六字名号
	〃	4	70	歴史教科書を考える
	〃	5	75	儲付円筒埴輪について
	〃	6	59	畿内の寺塔探訪
	〃	7	58	大和川付け替三題
	〃	8	50	戦後六十年
	〃	9	26	与謝野晶子・鉄幹の東京時代
	〃	10	52	帝国キネマと東大阪
	〃	12	7	若江で戦った木村重成
	奥田哲郎	1	53	生誕百周年 欲も得もない不思議な郷土偉人 安岡正篤
	小野賢一	13	61	大正・昭和の鶴橋、河内を愛した文人・堤梨雪

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
さ	佐野一雄	14	112	東高野街道 杖について
	〃	15	37	東高野街道 杖について
	〃	16	4	東高野街道 杖について
	〃 (佐野智彥)	17	39	河内の茶粥
	〃	19	51	読書の楽しみ
し	志田宣博	18	30	私とジャズ
	品川清	10	59	地形図から見る二世紀から五世紀の吉備王国―備前と道山から『記・紀』伝承のウラ側へ―
	〃	19	42	津軽半島・最古の水田稲作遺跡から徐福集団渡来の実態を知る
す	杉山三記雄	1	27	大坂夏の陣・古戦場幻の“若江堤”を追って
	〃	2	47	「巨麻郷」を歩いて
	〃	4	43	船板塀に魅せられて
	〃	5	52	大和川川替工事竣工三〇〇周年を前にして
	〃	6	38	街の“観光力”アツクしよう
	〃	7	45	大和川から“ルソン”へ 末吉孫左衛門の活躍
	〃	8	55	ロスアンゼルス・ソウル・上海～三都物語
	〃	9	72	『狐は人をだますの？』
	〃	10	74	“遅咲き”広沢瓢右衛門
	〃	11	84	没一〇年 米之助師匠を想う
	〃	12	21	漫才の祖 玉子屋円辰
	〃	13	26	美女堂氏遺愛編と若江
	〃	14	58	若江の忠霊塔―わが父の眠れるところ―
	〃	15	54	わが故郷の若江
	〃	16	33	旧大和川跡は丸ごと“史跡”なり
	〃	17	43	戦後70年、「若江の忠霊塔」の調査を終えて
	〃	18	8	生駒山西麓に息づく文学と人の交遊
	〃	19	16	英国初代公使オールコックと暗越奈良街道
	〃	20	39	治水翁・大橋房太郎と河内
せ	関谷広	5	15	河内三大馬場の中の玉櫛松の馬場
	〃	6	22	大坂空襲
	〃	7	25	大和川川替と築留の歩み
	〃	12	19	伴林光平
	せきれい短歌会	10	17	短歌5句
	〃	11	42	短歌10句

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
こ	古作登	19	4	「関西の棋士いまむかし」
	小谷一生	5	11	楠木正勝の伝説 その1
	〃	6	18	楠木正勝の伝説 その2
	小林ひろみ	13	46	太宰治著『女生徒』を読んで
	小林義孝	9	67	河内だ！どうの戒り立ち
	〃	10	69	まちの風格をつくる―平野屋新田会所保存の一步先―
	〃	11	77	聞き書き 船場商人錢屋の『細雪』
	〃	13	65	住道だより―河内の歴史あれこれ―
	〃	14	91	わが町で最高の学術と芸術を―住道だより(その二)―
	〃	15	105	三十五年間の夢
	〃	16	30	住道だより(その四)
さ	斉藤 正治	2	18	『良弁杉にまつわる子安明神の由来』
	坂上弘子	4	27	恩地川の「橋」『端』
	〃	19	6	恩智神社、わからへんこと
	桜井伝次郎	1	23	歴代組
	佐々木裕子	2	39	消えいく式内社
	佐藤啓二	14	41	三野郷のことなど
	〃	17	49	昭和11年の布施町 25人が死亡した氷菓食中毒
	〃	18	19	ひとのみち事件の中、「大布施市」へ 昭和11～12年の布施
	佐野一雄	2	26	天王寺まいり
	〃	3	18	“御本山道”追想
	〃	4	11	花山法皇 入堂叢信
	〃	5	7	壺坂峠
	〃	6	13	秋の夜話
	〃	7	96	“へたごころ”の詩
	〃	8	4	へたごころの詩
	〃	9	4	泣くな新兵さん
	〃	10	18	鬼と兵隊
	〃	11	1	東高野街道杖について
	〃	11	82	かわちアラカルト「川柳7句」ほか
	〃	12	27	「帝キネ」が燃えたゾー
	〃	12	38	東高野街道 杖について
	〃	13	32	東高野街道 杖について

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
つ	堤條治	15	5	祖父・堤橋次郎の思い出
と	飛田太一郎	7	86	大和川の替替と今・昔―兩岸歩いて、歴史をのぞいた―
	富永美代子	2	81	手作り本に心よせて
な	中井田栄	3	75	日本一周旅紀行
	〃	6	72	釈尊の足跡をたどる―インド聖地を旅して―
	〃	7	135	日下のホタル―ホタルの川づくりによせて―
	〃	9	9	木綿の育んだ河内平野―河内木綿コットン・クラフ 創立によせて―
	〃	10	20	佐渡島紀行―悠々の国仲平野―
	〃	11	55	もんじ(文字)が伝えるもの―父が残した戦争の記憶―
	〃	13	48	一枚の絵
	〃	14	96	日下のぼたるⅡ 蛍雪の光
	〃	15	33	河内木綿雑記
	〃	16	49	文字の形が持つ魅力
	〃	18	31	「石切参道・アラカルト」
	〃	19	36	石切参道・アラカルトⅡ
	〃	20	36	『日下村 石工 小平次』
	中河内拓本クラフ	16	9	西高野街道・里程石をたずねて
	中谷作次	2	29	新聞でみる「河内のニュース」
	〃	3	21	神武天皇御東行における浪速の上陸地―生駒山西麓―『孔雀衛門』昭和十五年の回顧
	〃	5	30	隨筆
	中野善典	16	26	鶴橋のフロレスラー―高泰文の風景
	〃	18	48	生野区は映画館の町だった
	〃	19	28	大阪での非公式試合 カ道山と三ノ瀬公園の謎
	成瀬俊彦	18	27	東大阪市内製造業 長寿企業の経営実態調査
	〃	19	32	東大阪市内観光振興とモノづくり～既存施設の活性化と工場ミュージアム構想～
に	西川 禎昭	5	41	流し節 正調河内音頭と常光寺
ね	根川 章子	11	36	「源氏物語私文」―一女三宮の出家について―
	〃	12	71	「源氏物語私文」二―六条御息所の類型表現について―
	〃	13	41	「源氏物語私文」三―女君たちの競演―
	〃	14	75	「源氏物語私文」四―姫君たちの結婚 玉鬘の大君の場合―
	〃	15	14	「源氏物語私文」五―垣い間見二題 紫の上と女三宮―
	〃	16	46	「源氏物語私文」六―花散里に見られる類型表現について―
	〃	18	41	「源氏物語私文」七―六条院の女君と四季―

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
せ	せきれい短歌会	12	62	短歌10首
た	高井皓	6	1	智識寺跡出土の葡萄唐草紋鴟尾
	〃	7	1	七・八世紀の旧大和川水運
	〃	11	21	古代交通都市の中心である鳥坂寺跡の歴史的重要性―国「史跡」指定に向けて―
	〃	12	41	智識寺の蘆舎那佛は金剛佛であった
	滝住光二	1	1	券刊に寄せて(創刊号)
	〃	1	34	元河内若江寺にあった重文の涅槃図を加茂町常念寺で発見するまで
	〃	2	71	史跡見学と歴史の裏側を探る
	〃	3	57	楠木正行の五ヶ所の墓について
	〃	4	51	続楠木正行の墓と父正成の墓について
	〃	5	80	北前船復元白山丸訪問記
	〃	6	68	親世流の創始者 親阿弥と世阿弥のたどった生涯
	〃	7	67	大和川付替と中甚兵衛の功績を記念して―中地区市史編纂を訴える―
	〃	8	19	遣唐使井真成と河内直観について
	田中郁夫	14	38	近代産業の始まりと鐘紡住道工場
	田中絹子	2	43	芭蕉翁の句碑を尋ねて
	〃	4	38	“北京門メンデル”に触れて
	〃	7	106	古墳の都 新羅王朝一千年の古都慶州を訪ねて
	〃	9	42	義経ドリムロード
	〃	11	49	アムール河畔の岩絵(ペトログリフ)を尋ねて
	田中まゆみ・藤谷久美子 藤本優子	3	52	『女性の復権』を読んで
	棚橋利光	4	83	二つの太平記
	〃	7	32	築留樋組の成立
	〃	7	102	付替え三〇〇年と高安城を探る会三〇〇年
	玉元早枝子	11	73	コットン・ボールに魅せられて
ち	曹奎通	16	22	生野区(大阪市)を核とする周辺地域の塩化ビニール―ザ―少史
つ	槌間博	3	30	一期一会
	〃	4	32	歩く旅 四国遍路日記から
	〃	5	46	歩く旅 続四国遍路日記から
	〃	6	33	歩く旅 伊豆下田街道
	津田悟	14	80	ダムに浮いた岐阜県徳山村の「ふるさとの牌」拓本
	〃	15	66	野崎観音の 茶鐘銘文拓本
	〃	16	5	東高野街道道標つれづれ

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
ま	松井紀子	5	18	鎌倉幕府と楠木氏—楠木氏御家人説について—
	松浦利弘	18	45	随想 「私と万葉集」
	〃	20	18	考察 難波の歴史と万葉の時代—横野万葉歌の風土、その時期と作者—
	松浦哲朗	19	52	うらら短歌会の楽しみ
	松江信一	6	28	「ドルメン」と呼ばれた古墳
	松村富子	7	128	奈良阪道選
み	水永八十生	15	73	大東地域の戦役者墓石と慰霊の変化
	湊一裕	15	99	井路と河内の香る水
	南光弘	9	29	「壬申の乱」を解き明かす！—一つの視点—「太陽の道」「新羅の道」の上に立つ「齋宮」—
	〃	11	10	河内の古代氏族と渡来人—市内の式内社、新撰姓氏録から考える—
	〃	12	76	古代における聖と賤—貴賤から淨穢へ—
	〃	14	24	ニギハヤヒ序—郷土のニギハヤヒ伝承・神話から考える—
	〃	16	41	天武天皇と持統天皇の時代—「嶋評戸籍木簡」を読む—
	〃	18	34	内行花文鏡とアヴァンガスの誕生。そして、伊勢神宮成立の謎
	〃	20	9	「河内湯とウオ—ターフロント瓜生堂物語」
	峰本順吉	3	35	柳生街道（瀬坂道）を歩く
	三村正臣	1	31	石地蔵伝承あれこれ
	〃	2	52	私の化粧地蔵散歩（茨木・高槻編）
	〃	3	41	大阪中部の石仏郷況（河内・大阪・堺）—河内の石仏所在目録編集を終えて—
	〃	4	48	化粧地蔵探訪記—若狭・小浜編—
	〃	5	58	五百羅漢探訪記—北伊勢菟野町竹成—
	〃	6	44	心のかたち ～石の百面相～
	〃	7	111	心のかたち ～石の百面相～2
	〃	8	21	心のかたち ～石の百面相～3
	〃	9	45	心のかたち ～石の百面相～4
	〃	10	1	「あしたづ」第十号発刊に寄せて
	〃	10	32	心のかたち ～石の百面相～5
	〃	11	27	心のかたち ～石の百面相～6
	〃	11	49	「五十村峠」について
な	室村和子 福田太郎	1	49	「五十村峠」について
む	村田隆志	4	73	慈雲尊者と柳澤候
も	森本すみ子	5	1	道昭（道照）和尚
や	萩田武子	4	9	百万塔に思う
	〃	7	10	川邊之普請手伝の三田藩

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
は	初谷勇	14	4	街道ブランド・コミュニティへの歩み—『暗越奈良街道2012』ガイドブック初公開—
	浜田昭子	2	33	<small>大和の神社の歴史と文化</small> 中巻に見る 善根寺春日神社権皮墓二十五人衆「権皮墓座」の二九六年間にわたる活動
	〃	4	19	善根寺春日神社権皮墓大工について
	〃	5	35	善根寺春日神社権皮墓大工について—その近世の活動と実態—
	〃	9	36	森長右衛門が語る「二百八十年前の河内の暮らし」—吉宗の日光御社参り病癒—
	〃	10	24	河内の村と人々「村定めと人々の暮らし」—支配者と御百姓—
ひ	樋口須賀子	15	50	彦根・宗安寺の血染めのすずき ～木村長門守重成公首塚の由来～
	〃	19	25	大阪商人と近代大阪、文化～ズンゾと迎える商いの道～
	〃	20	28	朝鮮通信使絵画とコレクシヨン～ズンゾと迎える朝鮮街道の祭り～
	平嶋述司	7	38	「大和川の付け替え」を考えながら
ふ	福田太郎	2	76	かしわら 郷土史かるた
	〃	4	79	チベット駆け足の旅
	福元匡代	2	56	黒坂とチョーク
	〃	3	54	あなただならどっち！
	〃	5	61	童笛
	〃	6	47	覆大明神
	〃	7	114	忘れもの
	藤井広治	14	64	創作『甦れ！福ちゃん』
	〃	15	92	晩秋—ジューズ「まちづくり」(1)—
	藤本優子	5	63	国木田独歩と基督教 再論
	〃	6	48	文学作品に見る人間の真相—選ぶということ、自由に生きるとは—
	〃	7	120	遠藤周作が世に問うたことと聖書的視点からの問題点（海と毒薬「悲しみの歌」より）
	〃	8	24	『リア王』は悲劇か—リアの生涯を考える—
	〃	9	53	私にとって書くということ
	〃	10	35	私の忘れられぬ人—西口孝四郎氏との出会い—
ま	政和美	4	15	楠 正行の奮戦と終焉について
	政野敦子	1	13	垣間みた下小坂村とその周辺
	〃	2	13	安政大地震と津浪
	〃	4	1	大塩平八郎の乱と河内
	〃	7	16	〈史料紹介〉大和川古川筋等新田大墳の痕
	榎谷政則	12	82	柘植葛城
	〃	13	16	柏原鉄道物語
	〃	15	46	「高井田山古墳」の被葬者は誰なのか

各号発行年	
号数	発行日
1号	平成9年3月31日
2号	平成11年11月11日
3号	平成13年3月31日
4号	平成14年3月30日
5号	平成15年2月20日
6号	平成16年2月25日
7号	平成16年10月25日
8号	平成18年2月25日
9号	平成19年2月20日
10号	平成20年2月20日
11号	平成21年2月20日
12号	平成22年2月20日
13号	平成23年2月20日
14号	平成24年2月20日
15号	平成25年2月20日
16号	平成26年2月20日
17号	平成27年3月31日
18号	平成28年2月25日
19号	平成29年2月25日
20号	平成30年2月24日

行	執筆者	号数	頁数	タイトル
や	篠田和子	11	63	民話 河内の・むかし むかしばなし
	山根真人	20	4	枚岡大神の春日御遷幸ルートについて—神護景雲二年(七六八)—
	山野隆雄	1	41	弥刀の地名と歴史について
	〃	3	62	〈東大阪文化サロン十周年記念〉丹後半島古代の旅
	〃	7	130	河内の馬文化について
	〃	8	14	河内の国の弥生の原風景
	〃	12	3	高僧「行基菩薩」について
	山本律郎	2	84	南北朝争乱 八尾の群像
よ	吉田裕	7	11	大和川付け替え余話 河村瑞賢のこと—未然を考える男の話—
	〃	12	67	浮瀬(うかむせ)物語
	吉村馨	1	6	郷土・河内の偉人「三田浄久」のこと
	〃	2	8	地籍名「キノボノ墓」のこと
	〃	3	1	史蹟「立教館」のこと
	〃	10	13	こぼれ話・ふるさと雑感 わが邑の「観音さん」のこと
	〃	11	68	ふるさと雑感 風雅余話
	〃	12	14	三田浄久年譜 並びに 柏原船沿革年表
わ	若松博恵	2	93	高橋和巳と東大阪
	〃	3	95	枚岡の伝説「神武東征と梶無神社」考
	〃	4	101	ニコライ・ネフスキーと東大阪—その追跡の前提—
	〃	8	72	日下の直越考
	〃	10	88	知られざる東大阪市内の城